

稲作情報 第1号

今年も安全・安心で高品質・良食味な「黒部米」の生産に取り組もう！

1 春の土づくり

●土壌改良資材及び有機物の施用

土づくりは単年度で効果が発現しづらいため、継続した取り組みが必要です。土壌改良資材を昨秋に散布しなかった場合は耕起前に必ず散布するとともに、有機物の施用に努めましょう。

【主な土壌改良資材と施用量の目安】

資材名	10a 当たり施用量	効果
粒状ケイカル	200kg	ケイ酸補給、酸度矯正
シリカロマン	100kg	ケイ酸・リン酸補給、酸度矯正
アサヒニューテツ	100kg	鉄分・ケイ酸補給、秋落ち防止
発酵鶏ふん※	75～100kg	リン酸・カリ補給、秋落ち防止

※連用田や地力の高いほ場は、基肥量を減量しましょう。

土壌分析結果では、ケイ酸やカリ、腐植が目標値を下回っているほ場が目立ちます。ケイ酸の少ない稲は、近年のような高温・少雨が連続すると、蒸散を抑えるため気孔が閉じて光合成能力が低下し、生育が停滞します。

光合成低下 ← 気孔が閉じる



気孔が開く → 光合成維持

●深耕による作土層の拡大

耕起は、作土の深さ 15cm 以上を目標（現状より 3cm 深く）に、トラクタの速度を落としてゆっくりと行いましょう。作土層を深くすることで根の伸長を促し、気温や水分の変化を受けにくい稲体にしましょう。

始業前の点検方法や速度等の設定はお持ちの取扱説明書を確認して下さい。



○土壌改良資材散布に対する助成

・土壌改良対策事業（市とJAが土づくりをサポートしています）

2 農作業安全のチェックをしましょう

近年、トラクタ等による農作業事故の事例が増えており、黒部市でも昨年8月、刈払機による死亡事故が発生しました。農作業機械による事故を未然に防止するために、以下の項目を確認しましょう。

●農作業共通

分類	No	項目	内容	✓
作業前	①	正しい服装	衣類が機械に巻き込まれないよう、作業に適した服装	
	②	所在連絡	作業内容や作業場所を家族などに伝えている	
	③	携帯電話	緊急時に連絡が取れるよう、携帯電話を持っている	
	④	体力調整	準備運動を行っている	
	⑤	焦り防止	作業計画を立て、余裕をもって無理なく作業している	
作業中	⑥	作業者確認	子供、妊婦、不慣れな人には危険を伴う作業はさせない	
	⑦	周囲確認	周りに危険が及ばないよう、周囲を確認しながら作業	
	⑧	複数人作業	機械作業、高所作業などの危険を伴う作業は複数人で	
	⑨	機械安全確認	器具の安全装置や防護カバーはきちんと装着して作業	
	⑩	エンジン停止	機械から離れるとき、機械のつまりを取り除くときはエンジンを切っている	
	⑪	適切な休憩	疲労が蓄積しないよう定期的に休憩している	

●トラクタ

No	内容	✓
①	安全フレームは作業時の状態にセットしてください	
②	ヘルメット、シートベルトを着用して下さい	
③	道路走行時は、左右のブレーキペダルを連結しましょう	
④	柔らかい畦や、幅が狭い道では慎重に走行しましょう	



●田植機

No	内容	✓
①	機械には運転者以外は乗せない	
②	苗の補給は田植機を停止させ、足元に十分注意する	
③	荷台から降ろす際は、荷台高さの4倍以上の歩み板を使う	



●刈払機

No	内容	✓
①	帽子・メガネ・手袋などの保護具を装着しましょう	
②	滑りにくい靴を履きましょう	
③	石や空き缶などをあらかじめ取り除きましょう	
④	周囲に人がいないことを確認しましょう（5m以内は危険）	

